ユーザーズマニュアル

ver. 1.3 J



iAUDIO U3

BBE Mach3Bass MP3 DIGITAL AUDIO Ogg vorbis Windows Media Mac OS LDB Lyric Data Base JetAudio

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本製品は家庭用であり、営業用には使用できません。
- 本マニュアルのすべての著作権は(株)コウォンシステムが持っており、本マニュアルの一部または全部の無断配布を禁じます。
- (株)コウォンシステムはレコード／ビデオ／ゲーム関連の法令を遵守します。それ以外の一切の成文化された関係法令の遵守は実際使用するユーザの責任です。
- 製品を購入しましたら直ちにhttp://www.iAUDIO.comで正式に顧客登録を行うことをお勧めします。正式顧客として登録すると、正会員のみに提供する様々な特典を受けられます。
- 本マニュアルに記載された例題原文や図表、写真は予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は性能向上のために予告なく変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound, Inc.のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、5510752および5736897によりBBE Sound, Inc.がライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

DIGITAL PRIDE.

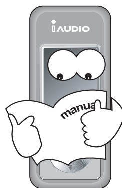
COWON



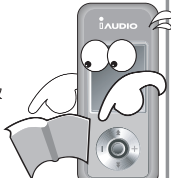
iAUDIO U3

iAUDIO U3

製品使用時の注意事項



本マニュアルに記載している目的以外には本製品を使用しないでください。



製品箱、付属品の取り扱いの際、ケガにご注意ください。



本製品を水に入れたり、湿気の多いところに長時間保管しないでください。浸水によるアフターサービスに分類され、無償サービスを受けることができません。有償でのアフターサービスも受けられなくなります。
また製品がまったく使用できなくなるおそれがあります。



本製品をご自分で分解または改造した場合は、保障期間中であっても無償サポートを受けることができません。



USBケーブルを使用するときは挿入方向に注意してください。間違った方向に差し込むと、コンピュータや機器の破損のおそれがあります。
また、USB接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物に押された状態で使用することを控えてください。



使用時本製品から異臭がしたり、異常な熱が発生する場合は、「RESET」ボタンを押して製品の動作を停止した後、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※ 製品の保管の際、異常に温度が高くなる所や、低くなる所はできるだけ控えてください。機器表面の劣化や変形および製品内部の損傷、ディスプレイの表示に問題をもたらすおそれがあります。



ぬれた手で本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。



大音量で長時間聴くと、聴力に問題が発生するおそれがあります。



静電気の発生がひどいところでの使用は控えてください。誤動作のおそれがあります。

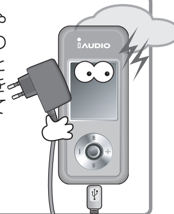
本製品の修理を依頼するときは、修理に出す前に必ず機器に保存されているすべてのデータバックアップしてください。修理において製品に保存されているデータは削除されるおそれがあります。修理において製品に保存されているデータのバックアップは行いません。また、データの損失に対して責任を負いません。





ACアダプタとUSBケーブルは、必ずCOWON SYSTEMS.inc。が提供するもののみを使用してください。

雷、稲妻のある日には落雷や火災のおそれがありますので、必ずコンピュータ本体とACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



※ 本製品をリムーバブルディスクとして使用する場合は、万一に備えて重要なデータは必ずバックアップを行ってください。メーカーはデータの損失に対して責任を負いません。

※ 本製品は状況によって予期せぬ大幅な価格変動がありえます。その場合、価格補償はいたしません。

1. iAUDIO U3とは?

COWON SYSTEM, Inc.で製造・生産するマルチメディアプレーヤの固有ブランドで、MP3ファイルを含め様々なマルチメディア音楽ファイルとMPEG4動画ファイルの再生機能、FMラジオのリスニングと録音機能、内蔵マイクまたはラインイン入力端子によるレコーディング、テキストビューアとイメージビューアなどをサポートする小型ポータブルデジタルプレイヤーです。

持ち歩きやすく洗練され小型デザイン
iAUDIO U3は31.5 X 72.0 X 18.0 mm(突出部を除く)の小型デザインで、携帯性にすぐれています。

内蔵型リチウムポリマー充電池を搭載(最長20時間連続再生)
省エネ回路の採用により長時間連続再生を実現しており、フル充電で最長20時間までの連続再生が可能です。(COWON SYSTEMS,Inc.テスト環境基準)

様々な音楽フォーマットをサポート
MP3、OGG、WMA、WAVはもちろんのこと、フラッシュメモリ製品としては世界で初めて可逆圧縮コーデックのFLACをサポートします。

動画再生
JetAudio VXを利用して最大1秒当たり15フレームの動画に変換および転送が可能です。転送された動画ファイルはiAUDIO U3で再生できます。

便利なテキストビューア/イメージビューア
テキストファイルおよびイメージファイルをiAUDIO U3で簡単に見ることができます。また、テキストファイルの場合は、音楽を再生しながら見ることもできます。

ボイスレコーディング(音声録音)
内蔵マイクまたは外部のマイクを接続することによりボイスレコーディングを行えます。この機能を利用すると、重要な会議や講義の内容を簡単に録音することができます。

ダイレクトエンコーディング(ラインイン録音)
外部の音響機器の出力を受け入れ、1倍速で録音できるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能は、録音端子と外部の音響機器の出力端子を両方向ラインインケーブルで接続して録音することを意味します。この機能を利用すると、CDプレーヤー、MD (Mini Disk)、古いレコード盤、テレビなどの音響機器から直接音声を取り込んで、iAUDIO U3に録音できます。

FMラジオのリスニング/録音
FMラジオを聴いたり、放送を録音(予約録音も可能)したりすることができます。この機能は語学学習に便利です。また、検索されたラジオ周波数をチャンネル番号に保存できるプリセット(Preset)機能もあります。

色あざやかでワイドなディスプレイ
160 x 128 ドット、26万カラーTFT-LCDが搭載されており、通常操作のステータスを一目で確認することができます。

全世界が認めた最強の音場
世界最高の音響効果技術「BBE」に加え、多彩なエフェクト技術を搭載
BBE : BBEサウンドフィールド効果により、音楽がより鮮やかに再現されます。
Mach3Bass　: ベースブースターにより超低周波数が強調されます。
MP Enhance : サウンドエフェクト機能により音源圧縮時に失われた音を補完します。
3D Surround : 3 Dサラウンド機能により空間感を生かす立体音響を実現します。

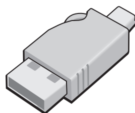
ファームウェアのアップグレードも簡単
ファームウェアのアップグレード機能を使用してパフォーマンスを向上できます。
また、継続的にファームウェアのアップグレードを提供することで、ユーザーのニーズに応えています。(非定期的)

リムーバブルディスク機能
USBケーブルでPCに接続すると、OS上ではiAUDIOはリムーバブルディスクとしてすぐに認識されるので、iAUDIOは携帯用USBストレージをしても使用できます。

JetShell

iAUDIOパッケージに同梱されているファイル転送ソフトウェアのJetShellは、オーディオCDにある音楽を簡単でスピーディにMP3ファイルに変換して、iAUDIOへ転送することができます。

2. パッケージの構成



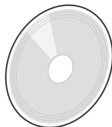
USB接続ジャック



ネックストラップ(別売）



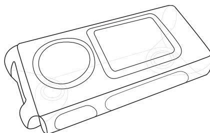
iAUDIOU3 (MP3プレーヤー本体)



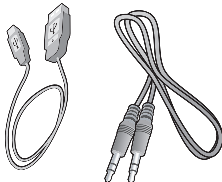
クイックガイド
インストールCD(JetShell、JetAudio、
ユーザーズマニュアル)



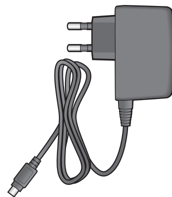
イヤホン



透明キャリングケース(別売)



USBケーブル、Line-in録音ケーブル



電源アダプタ(別売)

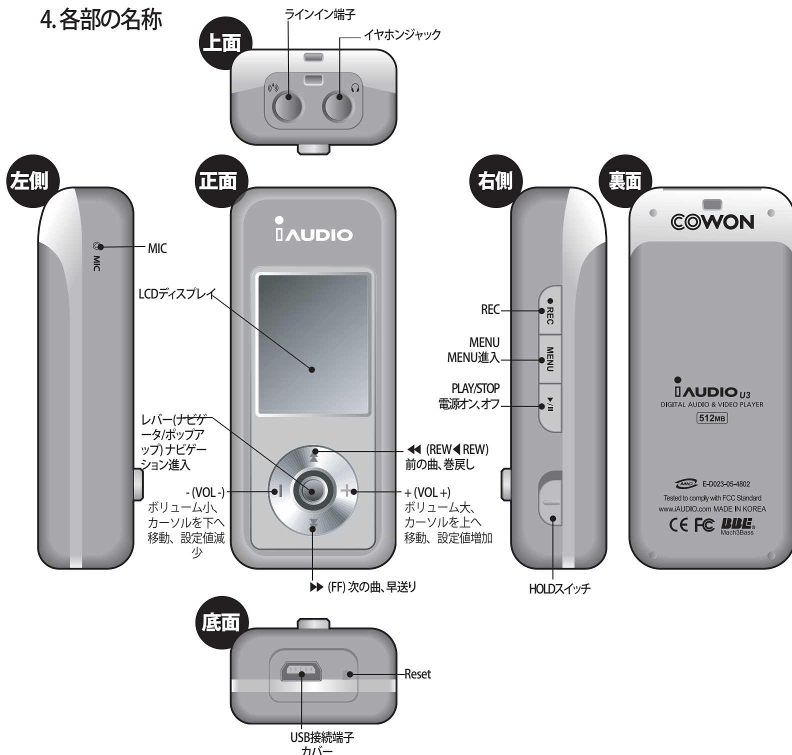
- 本製品はUSB接続ジャックまたはUSBケーブルで充電できます。

3. 機能と仕様

- MP3、OGG、WMA、ASF、FLAC、WAV、MPEG4(動画)再生、FMラジオのリスニングと録音、音声録音、ラインイン録音
- TXT(テキスト)、JPEG(イメージ)ファイルビューア(イメージ拡大、壁紙指定)
- 基本フラッシュメモリ内蔵(512MB/1G/2G)
- USB 2.0インターフェース
- 26万カラー1.2インチTFT-LCD、解像度160x128
- 長時間再生：最長連続20時間再生(COWON SYSTEM, inc. 基準。使用条件により再生時間が短くなります。)
- マルチリンガルサポート
- 統合ナビゲータ
- 再生/一時停止、録音/録音中の一時停止
- 次のトラック/前のトラック、早送り/巻戻し、区間無限リピート
- Resume機能、Fade In機能、Auto Play機能サポート
- サーチ速度、スキップ速度の設定
- ボリューム:デジタル40段階
- 多様なEQと音場効果(JetEffect)
  -ユーザー調節が可能な5バンドEQ
  -ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、ユーザー
  -BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
- 時計、アラーム、タイマー録音、スリープ機能、オートオフ機能
- 画面オートオフ時間の設定
- ファームウェアのダウンロードとアップグレード
- ID3 Tag、ファイル名サポート
- 機器情報確認(ファームウェアのバージョン、総容量、空き容量)
- MAC OSサポート(データ転送のみ)
- ソフトウェア
  -JetShell (ファイル転送、MP3/WAV/WMA/AUDIO CD 再生)
  -JetAudio VX (統合マルチメディア再生ソフトウェア、音楽/動画変換機能)

ファイルサポート	MP3: MPEG 1/2/2.5 Layer 3, ~320kbps, ~48khz, mono/stereo WMA: ~256kbps, ~48khz, mono/stereo OGG: ~q10, ~44.1khz, mono/stereo FLAC: 圧縮レベル0/1/2, ~44.1khz, mono/stereo WAV: ~48khz, 16bit, mono/stereo XviD MPEG-4, CBR ~256kbps, up to 160x128, 15 fps JPEG
メモリ	512MB/1G/2G
コンピュータインターフェース	USB 2.0
ファイル転送速度	最大35Mbps(アップロード40Mbps)
電源	内蔵リチウムポリマー充電池(最長連続20時間再生。COWON SYSTEMS,Inc.環境基準)
充電時間	約3時間
ボタン	5方向ジョグレバー(NAVI、VOL+、VOL-、REW、FF)、REC、MENU、PLAY、HOLDスイッチ
表示	160 x 128 dot、260,000カラーTFT-LCD
SNR	95dB
出力	16 Ωイヤホン：30mW + 30mW
出力周波数	20Hz ~ 20KHz
寸法	31.5 X 72.0 X 18.0 mm (幅x高さx奥行、突出部を除く。)
重量	32.5g (リチウムポリマー充電池を含む)

4. 各部の名称


上面
ラインイン端子
イヤホンジャック
左側
MIC
正面
iAUDIO
LCDディスプレイ
レバー(ナビゲータ/ポップアップ) ナビゲーション進入
◀◀ (REW◀REW) 前の曲、巻戻し
- (VOL -) ボリューム小、カーソルを下へ移動、設定値減少
+ (VOL +) ボリューム大、カーソルを上へ移動、設定値増加
▶▶ (FF) 次の曲、早送り
右側
REC
MENU MENU進入
PLAY/STOP 電源オン、オフ
HOLDスイッチ
裏面
COWON
iAUDIO U3
DIGITAL AUDIO & VIDEO PLAYER
512MB
E-D023-05-4802
Tested to comply with FCC Standard
www.iAUDIO.com MADE IN KOREA
Mach3Bass
底面
Reset
USB接続端子カバー

5. ディスプレイ

Boundary
Repeat
Shuffle
Hold
区間リピート
バッテリの残量レベル
現在時刻
12:30 PM A↔B
0168/0238
現在のトラック/全体トラック
アーティスト
Jack Lee iAUDIO
アルバムタイトル
iAUDIO Song
曲タイトル
Friends & Lovers.mp3
00:01:15
進行バー
再生時間
00:01:15
00:04:30
全体時間
ビットレート
サンプリングレート
128KB 44KH
ROC
BBE 5
M3B 5
3D 5
MP on
24
音量
5バンドEQ
JetEffect
(BBE, M3B, 3D, MP)



バッテリーの残量レバルアイコンは、バッテリーの使用可能時間を表示します。バッテリーの消耗に応じて残量レバルが減ります。一部のバッテリーの場合、残量を測定(センシング)するとき、残量アイコンが不規則に増減することがありますが、これは異常ではありません。

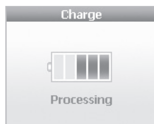


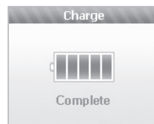
バッテリーの残量がほぼなくなると、アイコンが点滅を始めます。点滅を始めてから約30分間動作した後、自動的に電源が切れます。

6. 電源接続と充電



iAUDIO U3を充電するには、USBケーブルでコンピュータに接続するか、ACアダプタを接続します。





1. ACアダプタをコンセントと本体のUSB端子に接続します。

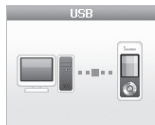
2. 自動的に電源が入いると同時に充電が始まります。

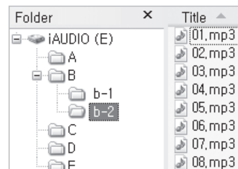
3. 充電が完了すると、画面に上図のように表示されます。

- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、ACアダプタで十分充電してから使用してください。
- 安全な使用のために必ず正常なACアダプタを使用してください。
- ACアダプタは、別売です。

7. コンピュータへの接続と充電







1. 付属のUSBケーブルでUSB端子とコンピュータを接続します。

2. 正しく接続されたら、画面に上図のように表示されると同時に充電が行われます。

3. Windowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、コンピュータに接続して十分充電してから使用してください。
- Windows 98 SEでは別途のドライバのインストールが必要です。
- 本製品が認識できる最大フォルダ数は100個で、最大ファイル数は1000個です。

8. Windows 98SEドライバのインストール

Windows 98SEを使用する場合、最初にコンピュータと接続するとき別途のドライバのインストールが必要です。
*Windows Me/2000/XPはコンピュータで自動的にiAUDIOを認識します。

■ ドライバのインストール方法



1. USBケーブルで製品をコンピュータに接続します。



2.「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。



3.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。



4.「検索場所の指定(L)」を選択し、「参照」ボタンをクリックします。



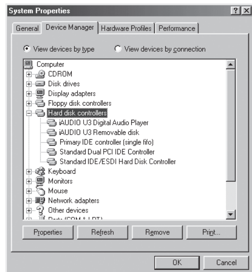
5.CD-ROMドライブ内の「Win98」フォルダを選択した後、「OK」をクリックします。(該当ファイルは当社のホームページ(www.cowonjapan.com)からもダウンロードできます。)



6.検索位置が指定されたら「次へ」をクリックします。



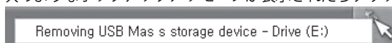
7.引き続き「次へ」をクリックします。



8.「完了」をクリックすると、ドライバのインストールが完了します。デバイスマネージャまたはWindowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

9. ファイルの保存と取り外し

1. iAUDIO U3をコンピュータに接続した状態で、WindowsエクスプローラまたはJetShellを実行します。
2. コンピュータにある音楽ファイルや画像ファイル、エンコードされた動画ファイル、その他iAUDIO U3で使用するファイルをiAUDIOドライブへ転送(コピー)します。
3. ファイルの保存が終わったらコンピュータのトレイに表示されたアイコンをクリックします。
4. 次のようなポップアップメッセージが表示されたらクリックします。



5. 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルを取り外します。



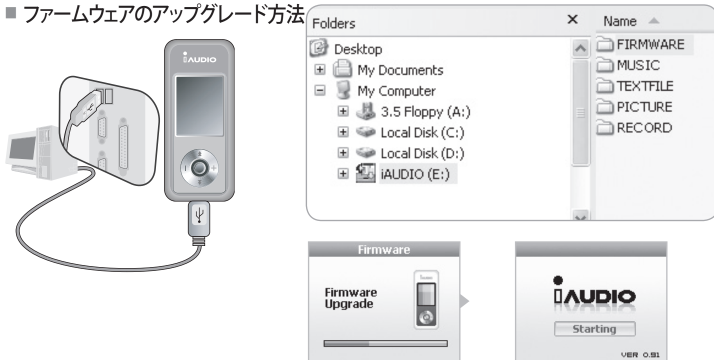
- マイコンピュータまたはWindowsエクスプローラでiAUDIOドライブが認識しない場合は、コンピュータとの接続状態とセッティングを確認してから再度接続を行ってください。(*Windows 98SEの場合はドライバのインストールが必要です。)
- JetShellの使用方法については付属のCDに収録しているJetShellのマニュアルをご覧ください。
- Windows 98 SEでは「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されないことがあります。そのときは転送ウィンドウが閉たことを確認した後、USBケーブルを取り外してください。
- 次のメッセージが表示されても製品の異常ではありません。。しばらくしてからハードウェアの安全な取り外しを実行してください。



10. ファームウェア(Firmware)のアップグレード

ファームウェアはハードウェアに内蔵されているプログラムで、アップグレードによって製品のパフォーマンスの向上、一部機能の修正をすることができます。
ファームウェアを通じて機能やメニューが予告なしに変更されることがあります。

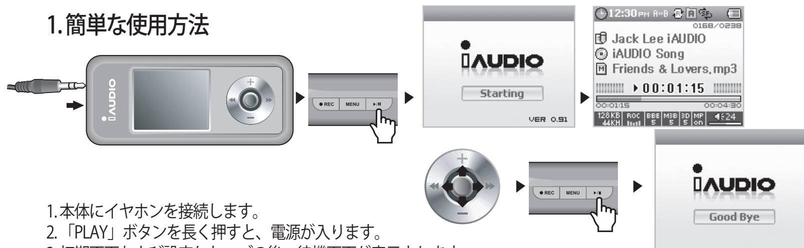
■ ファームウェアのアップグレード方法



1. USBケーブルで製品をコンピュータに接続します。
2. 当社のホームページ(http://www.cowonjapan.com)の資料室から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、U3の一番上位のフォルダ(Root)にファイルをコピーします。
4.コンピュータから製品を取り外し、電源がオフになったことを確認します。
5. 「PLAY」ボタンを押して電源を入れると、自動でファームウェアのアップグレードが行われます。
6. 正常にファームウェアのアップグレードが終わったら、新しいファームウェアで再スタートします。

- ファームウェアのバージョンは「「MENU-Setting-Information」で確認できます。
- ファームウェアのアップグレードを行う際、メモリに保存されているデータが削除される可能性がありますので、必ずコンピュータにバックアップしてから、ファームウェアのアップグレードを行ってください。
- ファームウェアのアップグレード方法は、変更されることがあります。詳しくは当社のホームページ(http://www.cowonjapan.com)をご覧ください。

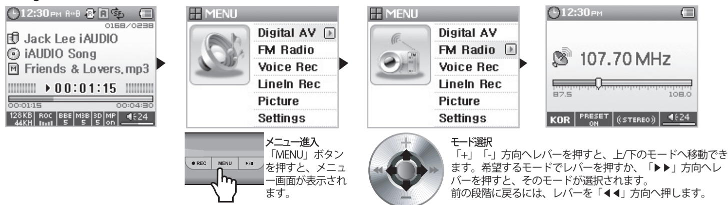
1. 簡単な使用方法



1. 本体にイヤホンを接続します。
2. 「PLAY」ボタンを長く押すと、電源が入ります。
3. 初期画面および設定したロゴの後、待機画面が表示されます。
   (設定によって自動的に再生させることもできます。)
4. 「PLAY」ボタンをもう一度押すと、音楽を再生します。
5. レバーを左右に押すと、他の曲を再生することができます。上下に押すと、ボリュームを調節できます。
6. 「PLAY」ボタンを再び長く押すと、電源が切れます。

2. モードを切り替えるための基本操作

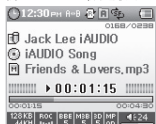
例:Digital AVモードからFMRadioモードへ切り替える場合の操作方法



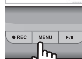
5つのモード(Digital AV、FM Radio、Voice Rec.、LineIn Rec.、Picture)があります。
それぞれのモードから他のモードへ切り替えるには、「MENU」ボタンを押して、メニュー画面を表示させてください。
メニュー画面が表示されたら、「+」「-」方向へレバーを押して希望するモードを指定します。
希望するモードを指定した後、レバーを押すか、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを押すと、該当モードに切り替えられます。
モードの切り替え画面で作業をキャンセルし、元のモードに戻すには、「◀◀」方向へレバーを押すか、「REC」ボタンを押してください。

3. 設定のための基本操作

例: JetEffectのEQ設定方法





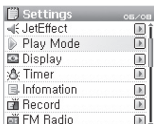


メニュー進入
「MENU」ボタンを押します。



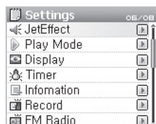


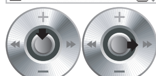
設定進入
「Setting」でレバーを押して進入します。



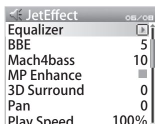


メニュー項目の上下移動
「+」「-」方向へレバーを押して、「JetEffect」を指定します。



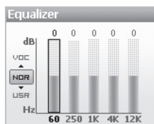


メニュー項目の選択
レバーを押すか、「▶▶」方向へレバーを押してJetEffecのサブメニューへ進入します。



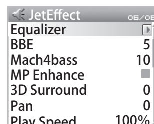


メニュー項目の選択
同じ要領で操作し「Equalizer」メニューを選択します。





EQジャンルの移動
「+」「-」方向へレバーを押し、EQジャンルを移動します。
設定調節したいEQジャンルに移動したら、「▶▶」方向へレバーを押してバンドを選択します。
5バンド dBレベル調節
「+」「-」方向へレバーを押して、5Band dBレベルを調節します。





EQ設定から抜け出る
レバーを「◀◀」方向へ押すか、「◀◀」方向へレバーを押します。
「PLAY」ボタンを押すと、前のモードまで戻ります。

■ 項目の移動

- 「MENU」ボタンを押してモード選択画面が表示されたら、「+」「-」方向へレバーを押して「Setting」へ移動します。
- 指定したメニューへの移動および選択のためには、レバーを押すか、「▶▶」方向へレバーを押します。
- 上位のメニューへ移動するには、「◀◀」方向へレバーを押します。(初期メニュー画面の場合はモード画面へ戻ります。)

■ 項目の値の調節

• 項目の場合、その項目を設定できるポップアップウィンドウが表示されます。
• 「+」「-」方向へレバーを押して希望する値に調節します。
• 項目を選択するにはレバーを押します。調節した値は直ちに反映されます。
• 設定の完了後、前のモードに戻るには「PLAY」ボタンを押します。

■ 項目の設定をキャンセルし、画面を閉じる

• 「REC」ボタンを押すと、現在設定中だった項目の値をキャンセルし、モード画面へ戻ります。

■ Equalizerメニュー項目の設定

• Equalizerメニュー項目へ進入します。
• 「+」「-」方向へレバーを押し、設定されているEQを選択できます。
• 「▶▶」方向へレバーを押し、EQの各バンドを選択できます。
• 選択したバンドで「+」「-」方向へレバーを押し、バンドのdBレベルを調節できます。(-12dB ~ 12dB)
• 「◀◀」方向へレバーを押して上位メニューへ移動するか、「PLAY」ボタンを押してEQ設定を完了します。

4. ナビゲータを使用するための基本操作

ナビゲータ進入
レバーを押して、ナビゲータ画面へ進入します。

フォルダの指定
「+」「-」方向へレバーを押して移動します。

フォルダの選択
フォルダを指定して開く場合、レバーを押してポップアップを表示させ「Expand」を選択します。または、「▶▶」方向へレバーを押すと、ポップアップを表示することなくすぐにフォルダの中に進入します。

指定したファイルの再生
「PLAY」ボタンを押すか、レバーを押してポップアップを表示させた後、「Play」を選択すると、DigitalAVモードに変わり、指定したファイルを再生します。
「▶▶」方向へレバーを押すと、ナビゲータ状態で指定したファイルが再生されます。

■ ナビゲータ画面を開く

• ナビゲータ画面へ進入するには、レバーを押します。
• Digital AV、Voice Rec.、LineIn Rec.、Pictureモードの場合、フラッシュメモリ内のフォルダやファイルを検索するためのナビゲータが開かれます。
• FM Radioモードでは、周波数プリセット(Preset)値を検索して設定するためのナビゲータが開かれます。

■ ファイル/フォルダの指定

• ファイル/フォルダの上下移動のためには「+」「-」方向へレバーを押します。
• 下位フォルダへの移動(進入)のためには「PLAY」ボタンを押すか、「▶▶」方向へレバーを押します。
• 上位フォルダへの移動のためには「◀◀」方向へレバーを押します。(最上位フォルダの場合、ナビゲータが閉じ、元のモード画面へ戻ります。)

■ ファイル/フォルダの選択

• 指定したファイルに対して、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを動かすと、そのファイルを再生します。
• 指定したフォルダに対して、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを動かすと、そのフォルダへ進入します。

■ ナビゲータのポップアップウィンドウ

• ナビゲータ画面でレバーを押すと、フォルダ、ファイル、ダイナミックプレイリストのファイル、ラジオモードに応じて適切なポップアップウィンドウが表示されます。
• 「+」「-」方向へレバーを押して希望する項目へ移動します。
• 「PLAY」ボタンを押すか、「▶▶」方向へレバーを押し、項目を選択します。
• 「REC」ボタンを押すと、ポップアップウィンドウが閉じます。

項目	ポップアップの内容
マルチメディアファイル	Play、Add List、Intro、Delete
一般フォルダ	Expand、Play、Add List、Delete
Dynamic Play Listのファイル	Play、Remove、Remove All
Book markのファイル	Play、Remove、Remove All
FM Radioモードナビゲータ	Listen Ch、Save Current Ch、Delete Ch
イメージファイル	View、Wallpaper、SlideShow

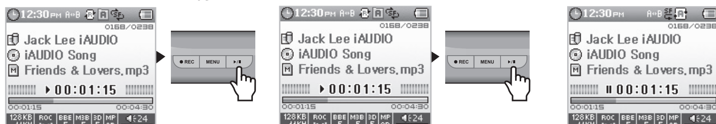
■ ナビゲータを閉じる

• 「REC」ボタンを押すと、ナビゲータ画面を閉じ、元の画面へ戻ります。

1. Digital AVモード(マルチメディアファイルとテキストビューアの実行)

Digital AVモードは、保存している音楽ファイルや動画ファイルを再生したり、保存しているテキストファイルを表示するモードです。

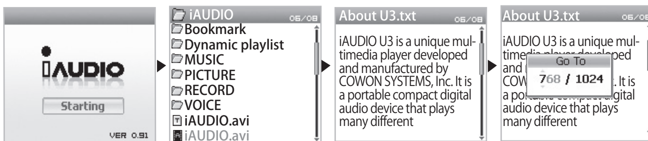
■ マルチメディアファイルの再生



1. 電源を入れると、初期画面とロゴ画面のが表示されてから、基本情報の表示された待機画面になります。
2. 「PLAY」ボタンを押し、音楽ファイルまたは動画ファイルを再生します。
3. 再生中に「PLAY」ボタンを押すと、ファイルの再生を一時停止します。
4. 再生中にレバーを「◀◀」「▶▶」の方向へ押すと、他のファイルを再生できます。
5. 再生中にレバーを「◀◀」「▶▶」の方向へ長く押すと、ファイルの早送り/巻き戻しをします。

- Auto playがONに設定されている場合、画面が表示されると同時にファイルを再生します。
- ResumeがONに設定されている場合、前回の続きから再生します。
- 「+」「-」方向へレバーを動かして、ボリュームを調節できます。
- 再生中に表示される曲の情報は「Display Tittle」の設定に従います。
-多くのファイルが保存されている場合、画面の表示まで時間が多少かかることがありますが、製品の異常ではありません。
- Digital AVモードで認識可能な最大フォルダ数は100個、最大ファイル数は1000個です。(再生可能な音楽ファイルと動画ファイルにのみあてはまります。それ以外のファイルには制限がありません)
- JetAudio VXで変換していない動画の場合、正常な動作を保障しません。

■ テキストビューアの実行



1. USBケーブルを使用して、iAUDIO U3をコンピュータに接続します。
2. iAUDIO U3で見たいテキストファイルを、iAUDIO U3に転送(コピー)し、保存します。
3. iAUDIO U3とコンピュータの接続を取り外します。
4. 電源を入れ、iAUDIO U3に保存したテキストファイルをナビゲータで選択すると、テキストファイルが表示されます。
5.「+」「-」方向へレバーを押すと行がずつ移動し、「◀◀」,「▶▶」方向へレバーを押すとページが移動します。
6. レバーを押してポップアップを表示させ、移動する場所を指定します。再びレバーを押すと特定の場所に移動します。
7. テキストビューアモードを終了するには、「REC」ボタンを押します。

- 音楽ファイルの再生中でも、テキストファイルを表示することができます。
- テキストファイルは最大240KBまで認識できます。

■ 区間リピートの設定

区間リピートとは、ユーザーが繰り返して聴きたい部分を設定し、設定した範囲内で繰り返し再生をする機能です。



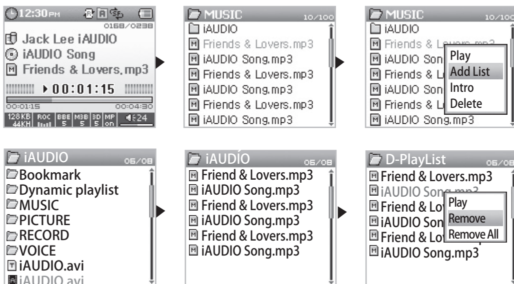
1. Digtal AVモードで音楽ファイルの再生途中、区間リピートを開始したい部分で「REC」ボタンを押すと、上のステータスバーに「A◀▶」アイコンが表示されます。
2. 区間リピートを終了したい場所で「REC」ボタンを押すと、「A◀▶ B」アイコンに変わり、設定した区間を繰り返して再生します。
3. 区間リピートを解除するには、「REC」ボタンをもう一度押します。

- 区間は1秒以上で設定してください。
- 区間リピートの設定中、他の曲を選択したり検索すると区間リピートは解除されます。
- 区間リピートは音楽ファイルにのみ有効です。動画ファイルでは区間リピートは設定できません。

■ Dynamic Play List (以下、DPL)の設定

聴きたい曲だけを簡単にリストアップして、聴くことのできる機能です。
iAUDIO U3には「Dynamic play List」という特殊フォルダが存在します。このフォルダはコンピュータでは確認されません。
聴きたい曲だけを追加/削除し、「Dynamic Play List」フォルダから再生することができます。

■ DPLに曲を追加



1. DPLに曲を追加するには、ナビゲータで曲やフォルダを指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Add List」を選択します。
2. DPLから曲を削除するには、「Dynamic Play List」フォルダから削除したい曲を指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Remove」を選択します。

- フォルダを「Add List」で追加すると、フォルダ内の全ての曲がDPLに追加されます。
- 再生画面でレバーを長く押してポップアップウィンドウを表示させ、「Add to DPL」を選択すると、直ちにDPLに追加ができます。
- 「MENU」ボタンと「REC」ボタンに対して、DPLへの曲の追加機能を設定できます。この場合AVファイルを再生中に、該当ボタンを長く押すと、「Added to DPL」というメッセージが表示され、DPLに曲が追加されます。
- DPLからすべての曲を削除するには、「Dynamic Play List」フォルダから任意の曲を指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Remove All」を選択します。。
- 「Dynamic Play List」フォルダからの曲の削除は、ファイルではなくリンクの削除のみを行います。ファイルをiAUDIO U3から削除したいときは、通常フォルダからファイルを指定し、レバーを押してポップアップを表示させ、「Delete」を選択します。
- DPLに設定されている曲のフアイルをいAUDIO U3から削除すると、保存されているDPLのリンクも自動的に削除されます。。
- DPLに追加可能な最大ファイル数は100個です。

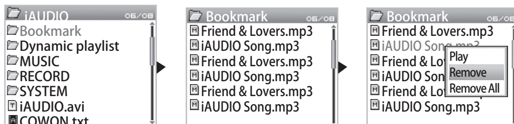
■ Book mark(ブックマーク)の設定

ブックマークは、指定する曲の再生を開始する場所を設定する機能です。ファイルに対して、再生を開始したい場所にブックマークを設定すると、いつでもその場所からファイルを再生できます。
iAUDIO U3には「Book mark」という特殊フォルダが存在します。このフォルダはコンピュータでは確認されません。

■ Bookmarkに曲を追加



■ Bookmarkから曲を削除



1. Digital AVモードで音楽ファイルの再生中、レバーを長く押すと、ポップアップウィンドウが表示されます。
2. 「Book mark」を選びレバーを押すと、その場所にブックマークが設定されます。
3. すでにブックマークが設定されているファイルの場合、新しく設定した場所にブックマークが変更されます。（同一ファイルに複数のブックマークは設定できません）
4. 「Bookmark」フォルダからファイルを選択すると、ブックマークを設定した場所から再生を開始します。
5. ブックマーク設定を削除するには、「Bookmark」フォルダから削除したい曲を指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Remove」を選択します。

- 「MENU」ボタンと「REC」ボタンに対して、ブックマーク追加機能を設定できます。この場合、音楽ファイルを再生中に該当ボタンを長く押すと、「Added to Book mark」というメッセージが表示され、ブックマークに曲が追加されます。
- すべてのブックマーク設定を削除するには、「Bookmark」フォルダから削除したい曲を指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Remove All」を選択します。
- 「Bookmark」フォルダからの曲の削除は、ファイルではなくリンクの削除のみを行います。ファイルをiAUDIO U3から削除したいときは、通常フォルダからファイルを指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「Delete」を選択します。
- ブックマークに設定されている曲のファイルをiAUDIO U3から削除すると、保存されているブックマークのリンクも自動的に削除されます。

2. FM Radioモード(FMラジオを聴く)

FM Radioモードは、ラジオ局の周波数を選択してラジオ放送を聴くモードです。

■ FMラジオを聴く





1. 電源を入れ、FMRadioモードに移動します。
2. レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ押すと、0.1Khzずつ移動します。
3. レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ長く押すと、受信状態の良好なチャンネルを自動検索します。

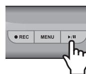
- FM Radioモードで電源を切った場合、次回電源を入れるとFM Radioモードが再開されます。

■ Preset(プリセット)の設定

好みの周波数をプリセットしておくことで、聴きたい周波数を簡単に選択できます。

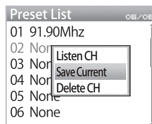


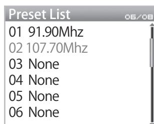










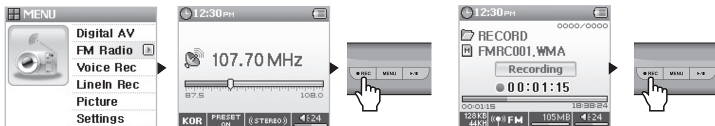




1. 電源を入れ、FM Radioモードに移動します。
2. 好みの周波数に合わせて「PLAY」ボタンを押すと、下のステータスバーに「PRESET ON」と表示され、プリセットモードになります。
3. レバーを押してナビゲータモードに移動します。
4. 「+」「-」方向へレバーを動かしてプリセットしたいチャンネルを指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させます。
5.ポップアップの「Save Current Ch」を選択すると、指定したチャンネルに現在の周波数がプリセットされます。
6.ナビゲータモードでプリセットしたチャンネルを指定し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ「Listen Ch」を選択すると、指定したチャンネルの周波数を聴けます。「Delete Ch」を選択すると、指定したチャンネルの周波数をプリセットから削除できます。
7. プリセットモード状態で再び「PLAY」ボタンを押すと、「PRESET OFF」となり、通常の検索が可能なモードに切り換わります

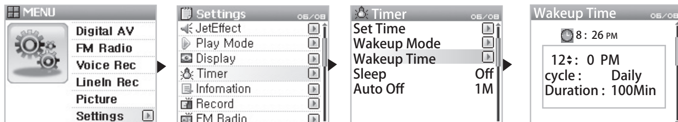
-プリセットされた周波数がない場合は、プリセットモードでの周波数の移動はできません。
- プリセットは最大24個まで保存が可能です。

■ FMラジオの録音



1. 電源を入れ、FM Radioモードに移動します。
2. 録音したい周波数に合わせます。
3. 「Rec」ボタンを押すと、録音が始まります。
4. もう一度「REC」ボタンを押すと、録音が停止します。

■ FMラジオの予約録音

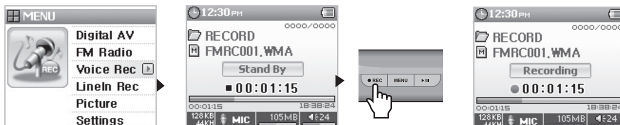


1.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.Timer」を参照し、iAUDIOの時刻設定を行います。
2.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.Timer」を参照し、「Wakeup mode」で「FM Alarm」を選択します。
3.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.Timer」を参照し、「Wakeup time」で予約録音を始めたい時刻を設定します。
4. 設定した時刻になると、自動的に電源が入り、指定した設定に従って録音が始まります。

- 録音したファイルは最上位フォルダの「RECORD」に保存されます。
- 録音には通普より多くバッテリーが消耗されますので、録音前に十分充電してください。
- 録音の品質と容量は、受信状態および録音品質設定により異なります。「4)メニュー別の詳細機能説明 - 8.Recording」を参照ください。

3. Voice Rec. モード(内蔵マイクによる音声録音)

音声録音モードは内蔵のマイクを利用して音声録音を行う機能です。



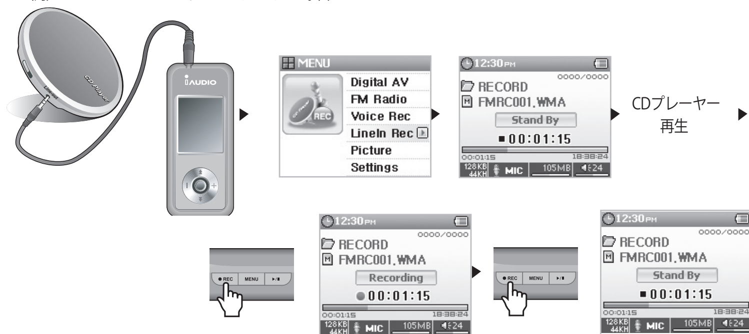
1. 電源を入れ、Voice Rec. モードに移動します。
2.「REC」ボタンを押すと、録音が始まります。
3. もう一度「REC」ボタンを押すと、録音が停止します。
4. 録音したファイルを再生するには、「PLAY」ボタンを押します。

- 録音したファイルは最上位フォルダの「VOICE」に保存されます。
- 録音には通常より多くバッテリーが消耗されますので、録音前に十分充電しててください。
- 録音の品質と容量は、受信状態および録音品質設定により異なります。「4)メニュー別の詳細機能説明 - 8. Recording」を 参照ください。

4. LineIn Rec.モード(ラインインケーブルによる録音)

LineIn Rec.モードは、付属のラインインケーブルを利用して他の音響機器から録音する機能です。

例）CD プレーヤーからのラインイン録音



1. ラインインケーブルを使用して、CDプレーヤーのヘッドホン端子とiAUDIO U3のラインイン(Line-in)端子を接続します。
2. 電源を入れ、Linein Recモードに移動します。
3. CDプレーヤーの再生ボタンを押し、iAUDIO U3の「REC」ボタンを押すと、録音が始まります。
4. 録音中「PLAY」ボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと録音を再開します。
5. 「REC」ボタンをもう一度押すと、録音が終了します。
6. 録音したファイルを聴くには、「PLAY」ボタンを押します。

- 録音したファイルは最上位フォルダの「RECORD」に保存されます。
- ナビゲータから録音したファイルを再生するには、音楽ファイルを再生する場合と同じように、Digital AVモードで再生できます。
- LineIn Rec.モードで電源を切った場合は、次回電源を入れるとLineIn Rec.モードが再開されます。
- 録音には通常より多くバッテリーが消耗されますので、録音前に十分充電してください。
- 録音の品質と容量は、録音品質設定等により異なります。「4)メニュー別の詳細機能説明 - 8. Recording」を参照ください。

5. Pictureモード(イメージを見る)



1. USBケーブルを使用して、iAUDIO U3をコンピュータに接続します。
2. iAUDIO U3で見たい画像ファイルをiAUDIO U3の「PICTURE」フォルダに転送(コピー)し、保存します。
3. iAUDIO U3とコンピュータの接続を取り外します。
4. 電源を入れ、Pictureモードに移動します。
5. 9枚のサムネイル画像が表示され、スピード検索ができます。
6. サムネイル画像を指定しレバーを押すと、画像が表示されます。
7. 「+」「-」へレバーを押すと拡大または縮小され、「◀◀」「▶▶」へレバーを押すと前の画像/次の画像を順次表示します。
8. 「Rec」ボタンを押すとナビゲータが表示され、画像ファイルを指定してレバーを押すと、ポップアップウィンドウが表示されます。
9. 「View」を選択すると、画像を表示します。「Wallpaper」を選択すると、指定した画像を壁紙に設定します。

「4)メニュー別の詳細機能説明 - 5.Display- 6.Wall paper」を参考ください。

10. ナビゲータで「Rec」ボタンを押すとサムネイル画像が表示され、再度「Rec」ボタンを押すとナビゲータに戻ります。

- JPG(Progressive Typeを除く)以外の画像フォーマットはサポートされていません。
- 画像ファイルの容量が大きいほど表示されるまで時間がかかります。
- Pictureモード以外のモードでのナビゲータ画面には、画像ファイルは表示されません。
- 逆に、Pictureモードでのナビゲータ画面には、画像ファイル以外のファイルは表示されません。
- 「PICTURE」フォルダにのみ画像ファイルは保存してください。

6. ボタンの使用方法(各モードの簡単操作表)

■ ナビゲータモード

ボタン		動作	ファイル選択時	フォルダ選択時
Play	▶/II	●	選択したファイルを再生し、再生モードに変更	指定したフォルダに進入
		━	電源オフ	電源オフ
FF		●	ナビゲータモードのまま、指定したファイルを再生	指定したフォルダに進入
REW		●	上位フォルダに移動	上位フォルダに移動
+			カーソルを上に移動	カーソルを上に移動
-			カーソルを下に移動	カーソルを下に移動
レバー		●	ポップアップを表示	ポップアップを表示
REC/A↔B	● REC	●	再生モードに変更	再生モードに変更

ボタン操作について、● は短く押し、━ は長く押します。

■ Digital AVモード

ボタン		動作	停止時	再生時
Play	▶/II	●	現在のファイルを再生	現在のファイルの再生を停止
		━	電源オフ	電源オフ
FF		●	次のファイルにスキップ	スキップの設定に従って、トラックをスキップするか、2秒~30秒スキップ
		━	次のファイルにスキップ	早送り
REW		●	前のファイルにスキップ	スキップの設定に従って、トラックをスキップするか、2秒~30秒スキップ
		━	前のファイルにスキップ	巻き戻し
+			ボリューム大	ボリューム大
-			ボリューム小	ボリューム小
レバー		●	ナビゲータモードに変更	ナビゲータモードに変更
		━	ポップアップを表示	ポップアップを表示
MENU	MENU	●	MENU画面に変更	MENU画面に変更
		━	ユーザー設定の実行	ユーザー設定の実行
REC/A↔B	● REC	●		区間リピートの設定と解除
		━	ユーザー設定の実行	ユーザー設定の実行

ボタン操作について、● は短く押し、━ は長く押します。

■ FM Radioモード

ボタン		動作	通常モード	プリセットモード
Play	▶/II	●	プリセットモードに変更	通常モードに変更
FF		●	周波数を高くする	次のプリセットに移動
		━━	次の受信良好な周波数を自動検索	次のプリセットに移動
REW		●	周波数を低くする	前にプリセットに移動
		━━	前の受信良好な周波数を自動検索	前のプリセットに移動
+			ボリューム大	ボリューム大
-			ボリューム小	ボリューム小
レバー		●	Preset List画面に変更	Preset List画面に変更
MENU	MENU	●	MENU画面に変更	MENU画面に変更
REC/A↔B	● REC	●	録音の開始と終了	録音の開始と終了

ボタン操作について、● は短く押し、━━ は長く押します。

■ Voice Rec./LineIn Rec.モード

ボタン		動作	停止時	録音時
Play	▶/II	●	録音したファイルの再生	一時停止または録音の再開
		━	電源オフ	
+			ボリューム大	
-			ボリューム小	
レバー		●	ナビゲータモードに変更	
MENU	MENU	●	MENU画面に変更	
REC/A↔B	● REC	●	録音開始	録音終了

ボタン操作について、● は短く押し、━ は長く押します。

1. メニュー一覧表

Menu	Digital AV FM Radio Voice Rec LineIn Rec Picture Settings ▶
JetEffect	Equalizer BBE Mach3Bass MP Enhance 3D Surround Pan
再生モード (Play Mode)	Boundary リピート(Repeat) シャッフル(Shuffle)
画面(Display)	言語(Language) タイトル(Song Title) 再生時間(Play Time) アルバム名のスクロール(Album Scroll) タイトルのスクロール(Title Scroll) 壁紙(Wall Paper) ステータスバー(Status Bar) 歌詞(Lyrics) スクロール速度(SCSpeed) 画面自動オフ(LCD Auto Off) 明度(Brightness) 画面カラー指定(User Color)
タイマ (Timer)	時刻設定(Set Time) アラームモード(Wakeup Mode) アラーム時刻(Wakeup Time) スリープ(Sleep) 自動電源オフ(Auto Off)
一般 (General)	スキップ間隔(Skip Length) 検索速度(Scan Speed) 再開(Resume) 自動再生(Auto Play) フェードイン(Fade In) 充電(Charge) コントロール(Control) デフォルト設定に戻る(Load Default)
録音 (Recording)	ラインインBPS(LineIn BPS) 音声録音BPS(Voice BPS) FM BPS マイクボリューム(Mic Volume) ボイスアクティブ(Voice Activate) ラインインボリューム(Line Volume) 自動シンク(Auto Sync) 外部マイク(External MIC)
FMラジオ(FM Radio)	ステレオ(Stereo) 自動検索(Auto Scan) 地域(Region)
情報(Information)	

- 設定メニューは、ファームウェアのアップグレードにより変更されることがあります。
- 設定メニュー言語の変更については、P41の「メニュー別の詳細機能説明 - 5. Display - 1. Language」を参照ください。初期設定では英語に設定されています。
- 設定メニューの操作方法については、P23の「基本的な使用方法 - 3.設定のための基本操作」を参照ください。

2. MENU

初期画面からDigital AV、FM Radio、Voice Rec.、LineIn rec.、Pictureの各モードおよび設定変更を選択できます。





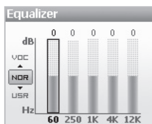




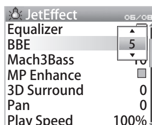




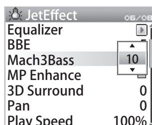
3. JetEffect



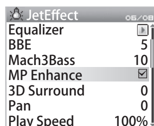
1. Equalizer
ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ、ボーカル、ユーザーの各EQがプリセットされています。また各EQの5バンド EQは自由に設定変更できます。



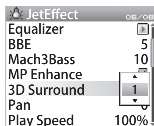
2. BBE
BBEは音場効果を与え、音質をクリアにします。



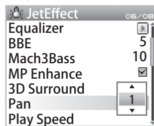
3. Mach3Bass
Mach3Bassはベースブースタにより、超低域が強調されます。



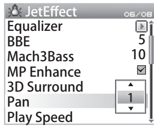
4. MP Enhance
MP Enhanceはサウンドエフェクト機能により、音源圧縮時に損なわれた音を補正します。



5. 3D Surround
3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。



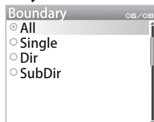
6. Pan
Panは左右の音量のバランスを調節する機能です。



7.Play speed
Play Speedは、再生速度を調節する機能です。

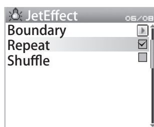
- 過度なJetEffecのt設定は、音の歪みやノイズをもたらすおそれがあります。
- JetEffectの詳細については、COWON SYSTEMS,Inc.のホームページ(www.iAUDIO.com)BBE MPを参照ください。

4. Play Mode



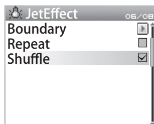
1. Boundary
ファイルやフォルダに対して再生領域を設定する機能で、様々な再生領域を設定できます。
再生領域には、録音されたMP3ファイルは含まれません。

● All：フォルダに関係なく、すべてのファイルを再生します。
● Single：1つのファイルのみを再生します。
● Folder：現在選択されているフォルダ内のファイルのみを再生します。
● Subfolder：現在選択されているフォルダ内のサブフォルダまで含めて再生します。
DPL、Book Markの曲を再生する場合、自動的に該当リストが再生領域に設定されます。
DPL、Book Markの曲を再生中する途中一般フォルダの曲を再生すると、自動的に前の再生領域に戻ります。



2. Repeat

- Boundaryで設定した再生領域で、リピート機能のOn/Offを選択できます。
- Repeatを「On」にすると、再生を繰り返します。Boundaryを「All」にすると、すべての曲の再生が完了した時点で、再び再生を繰り返します。



3. Shuffle

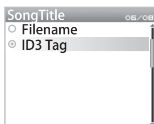
- Boundaryで設定した再生領域で、シャッフル機能のOn/Offを選択できます。
- Shuffleを「On」にすると、ファイルはランダムに再生されます。

5. Display



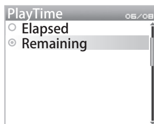
1. Language

- 設定メニューの言語を選択できます。



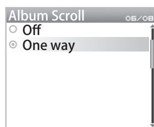
2. Title

- 曲タイトルの表示方法を選択できます。
- 「File Name」もしくは「ID3 Tag」のどちらかを表示します。



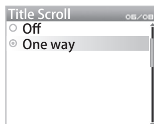
3. Play Time

- 現在再生されているファイルの、時間表示方法を選択できます。
- 「Elapsed」は経過時間、「Remaining Time」は残り時間を表示します。



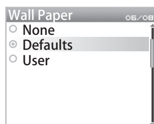
4. Album scroll

• ディスプレイに表示されるアルバムタイトルのスクロール方法を選択できます。
• 「Off」はスクロールされず、「One Way」は左方向へスクロールされます。



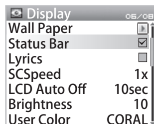
5. Title scroll

• ディスプレイに表示される曲タイトルのスクロール方法を選択できます。
• 「Off」はスクロールされず、「One Way」は左方向へスクロールされます。



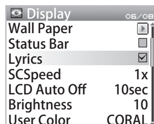
6. Scroll speed

• ディスプレイに表示される文字の、スクロール速度を設定できます。
• 数字が大きいほど、スクロール速度は速くなります。



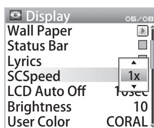
7. Wall paper

• Digital AVモードの壁紙を設定できます。
• 「None」は壁紙が表示されず、「Defaults」は初期設定された画面が表示されます。
• 「User」は、Pictureモードで「Wallpaper」に設定した画像ファイルが表示さ



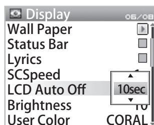
8. Status bar

• ディスプレイに表示されるステータスバーを、表示するかしないか選択できます。
• 「Off」にすると、ディスプレイの上下に表示されるステータスバーが非表示になり、表示領域が広がります。



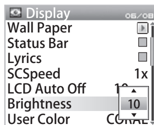
9. Lyrics

- 歌詞入力済み音楽ファイルの歌詞を、表示するかしないか選択できます。
- 「On」にすると、再生中の音楽ファイルの歌詞が表示されます。
- 「On」にしても、歌詞が入力されていない音楽ファイルでは表示されません。



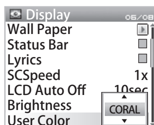
10. LCAuto Off

- ディスプレイのバックライトを点けておく時間を設定できます。
- 設定した時間、何も操作を行わないとディスプレイのバックライトが消灯します。。



11.Brightness

- ディスプレイの輝度を設定できます。
- 数字が大きいほど、明るくなります。

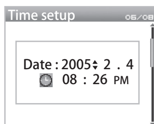


12. User assigned color

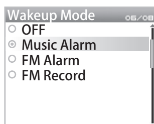
- ディスプレイの全体的な色調を設定できます。

Be

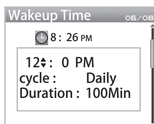
6. Timer



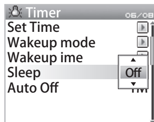
1. Time setup
• 現在の時刻を設定します。
• Wakeup modeのために、時刻を正確に設定してください。



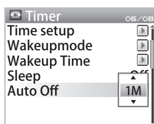
2. Wakeup mode
• 「Wakeup time」で設定した時刻になると、自動的にiAUDIO U3を起動させる機能です。
• 「Music Alarm」は音楽ファイルの再生、「FM Alarm」は最後に聴いた周波数でのFM Radioモードになります。
• 「FM Record」は、最後に聴いた周波数のラジオを録音します。
• FM Recordには通常より多くバッテリーが消耗されますので、ご使用前に十分充電してください。



3. Wakeup time
• Wakeup modeの起動時刻を設定できます。
• Cycleが「Once」ではアラーム動作は一回のみ、「Daily」では毎日アラーム動作を行います。
• Durationではアラーム動作の継続時間を設定します。設定した継続時間を過ぎると、自動的にアラーム動作は停止し、iAUDIO U3の電源は切れます。



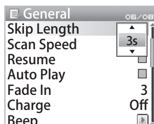
4. Sleep
• iAUDIO U3をご使用中に、設定した時間が過ぎると、自動的に電源を切る機能です。
• ファイルの再生中やラジオのリスニング中など、動作中でも自動的に電源が切れます。



5. Auto off

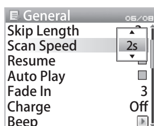
- iAUDIO U3の動作が停止している状態で、何も操作しないまま設定した時間が過ぎると、自動的に電源を切る機能です。
- ファイルの再生中やラジオのリスニング中など、動作中にはこの機能は働きません。

7. General



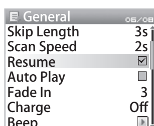
1. Skip length

- 「◀◀」,「▶▶」レバーを押したとき、次/前のファイルにスキップするか、設定した秒数をスキップするか設定できます。



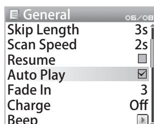
2. Scan speed

- 「◀◀」,「▶▶」レバーを長く押したとき、早送り/巻き戻しする速度を設定できます。
- 数字が大きいほど、早送り/巻き戻しする速度は速くなります。



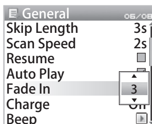
3. Resume

- 最後に再生した音楽ファイルの終了位置を記憶する機能です。
- Auto playを「On」にすると、最後に再生した終了位置から自動的に再生します。

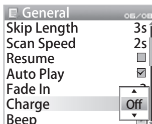


4. Auto play

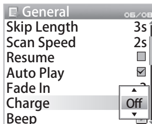
- 電源を入れたとき、自動的に再生を始める機能です。
- 「On」にすると、Digital AVモードでは最後に再生したファイルの先頭から再生を始めます。
- Resumeを「On」にすると、最後に再生した終了位置から再生を始めます。



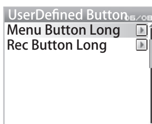
5. Fade in
- 停止または一時停止のあと再生するとき、徐々に音量を上げる機能です。
- 音量が上がるまでの時間を設定できます。

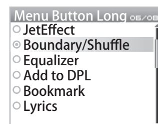


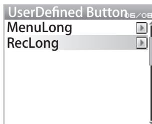
6. Charge
- USB接続での充電速度を選択できます。
- 「Normal」は通常充電、「Slow」は通常充電より遅く、「Off」では充電されません。
- ノートパソコンなどバッテリ電力を使用する場合は「Slow」を推奨します。

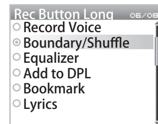


7. Beep
- Digital AVモードで操作をしたときに、音を出すかどうかの選択ができます。
- 「On」にすると、操作をしたときに「ピッ」と音がします。

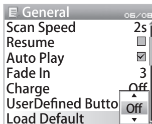






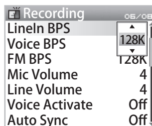


8.User Defined Button
- 「MENU」ボタンと「REC」ボタンを押す場合に対して、機能を選択できます。
- 「MENU」ボタンはJetEffect、Boundary/ Shuffle、Equalizer、Add to DPL、Bookmark、Lyricsのいずれか、「REC」ボタンはVoice Rec、 Boundary/ Shuffle、Equalizer、Add to DPL、Bookmark、Lyricsのいずれかから選択できます。



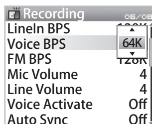
9. Load Default
- Language以外の設定を初期設定に戻します。

8. Recording



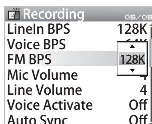
1. LineIn bps

- ダイレクトエンコーディングで録音するファイルの音質を設定できます
- 数値が高いほど音質はよくなりますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。



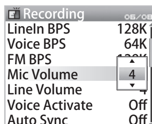
2. Voice bps

- マイクで録音するファイルの音質を設定できます。
- マイクで録音されるファイルはモノラルです。
- 数値が高いほど音質はよくなりますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。



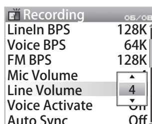
3. FM bps

- FM Radioモードで受信するラジオ放送を録音するファイルの音質を設定できます。
- 数値が高いほど音質はよくなりますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。



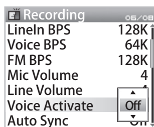
4. Mic volume

- マイクの音量レベルを調節できます。
- 数値が高いほど音量レベルは上がり、「AUTO」の場合は自動で音量レベルを調節します。

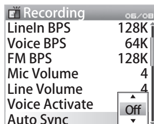


5. Line volume

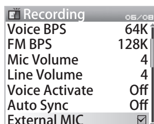
- ラインイン端子からの、入力信号の音量レベルを調節できます。
- 数値が高いほど音量レベルは上がります。



6. Voice activate
- 音声の入力がないと自動的に一時停止となり、入力があると再び録音を開始する機能です。そのため、メモリの節約ができます。
- 数値が低いほど、音声感度は上がります。
- 重要な録音をする場合には、必ず「Off」に設定してください。

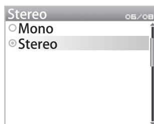


7. Auto sync
- LineIn Rec.をするとき無音部分を認識し、ファイルを分割する機能です。
- 設定した時間入力信号がないとファイルを分割し、その後の入力信号には新しいファイルを作成します。

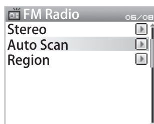


8. External MIC
- 内蔵マイクまたは外部マイクを選択できます。
- 「On」にすると、内蔵マイクを通じて音声が録音され、「Off」にするとラインイン端子に接続した外部マイクを通じて録音されます。

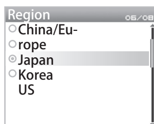
9. FM Radio



1. Stereo
- FMラジオを聴くとき、ステレオまたはモノラルを選択できます。
- 但し、放送局がモノラル放送だけをサポートしている場合は、ステレオを選択してもモノラルで放送されます。

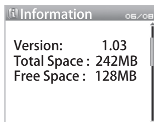


2. Auto scan
- 受信されるFM周波数を自動で検索し、プリセットに登録する機能です。



3. Region
• FMラジオの国別周波数を選択できます。
• 日本国内で受信できるように、「Japan」を選択してください。

10. Information

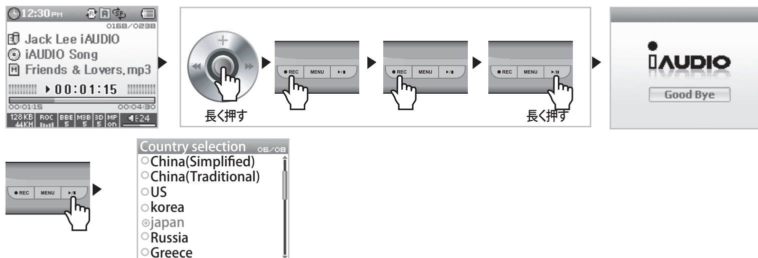


• Version：現在のファームウェアのバージョンです。
• Total Space：フラッシュメモリの記憶できる総容量です。
• Free Space ：フラッシュメモリの空き容量です。

1. 工場出荷状態に初期化

iAUDIO U3には、初期設定に戻す機能のほかに、工場出荷時の状態に初期化する機能があります。
初期化する場合、現在設定変更してある設定値は削除され、工場出荷時の設定値に戻されます。

1. 電源を入れた後、Digital AVモードに変更します。
2. 音楽ファイルの再生画面で一時停止し、次のように操作します。



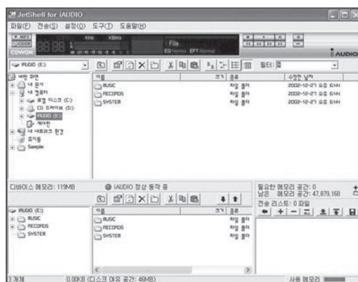
3. 初期化されていれば、電源を入れた後に言語設定画面が表示されます。

- 製品が誤動作するときは、製品の底面にあるカバーを開けて「RESET」ボタンを押し、製品を再起動してください。それでも誤動作が起こる場合には、初期化をして工場出荷状態に戻してください。

2. インストールCD内のプログラムについて

付属されているインストールCDには、世界的に有名なマルチメディア統合再生/動画変換プログラムのJetAudio VXと、iAUDIO用のマネージャプログラムのJetShellが収録されています。(その他にWindows 98 SE用ドライバファイルも収録されています。)
それぞれのプログラムについての詳細な使用マニュアルは該当のフォルダ内に入っています。



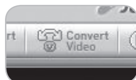


3. JetAudio VXによるファイル変換

1. JetAudio VXをインストールし、実行します。



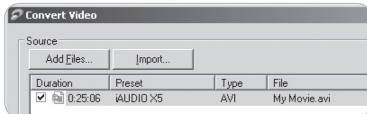
2. 動画ファイルの変換のために上部の「Convert Video」をクリックします。



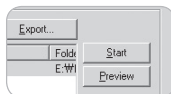
3. ビデオ変換ウィンドウが表示されたら「Add Files」を選択し、変換したい動画ファイルを読み込みます。



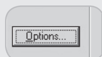
4. 読み込んだ動画ファイルを確認します。



5.保存先とプリセットを確認した後、右上の「Start」ボタンをクリックし、変換を始めます。



-コンピュータで正常に再生される動画ファイルのみ、変換が可能です。
-すべてのファイルが変換できるわけではありません。また、変換されても損傷のあるファイルの場合はiAUDIO U3で再生できない可能性があります。
-パソコンの性能や原本ファイルのサイズ、コーデックの種類によって変換時間は異なります。
-「Preview」をクリックすると、保存せずに変換画面を確認できます。
-字幕を同時に変換するか、設定を変更したい場合は「Options」をクリックします。。
-「smi」ファイルは字幕ファイルです。必ず動画ファイルと同じファイル名にしてください。
-動画ファイルの場合、ブックマークとダイナミックプレイリストは使用できません。



-「smi」ファイルは字幕ファイルで、必ず動画ファイルと同じファイル名でなければなりません。

ジェットシェル(JetShell)とは？

JetShellは次のような役割を行うiAUDIO専用マネージャプログラムです。

• iAUDIOにファイルを転送(Download/Upload)する機能
• Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
• MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生
• 転送リスト(Download List)による簡単なファイル転送
• 多様なスペクトラム、イコライザ、エフェクトサポート
• CDDB、ID3タグ編集機能（CDDBは日本語非対応）
• iAUDIOロゴ転送機能
• フラッシュメモリフォーマット機能

PCシステム必要構成

• Pentium Ⅱ 233Mhz相当以上のCPU
• 64MB以上のシステムメモリ（または使用OSが推奨するシステムメモリ）
• ハードディスクに最低20MB以上の空き容量
• 256色以上のグラフィックカード
• Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTは非対応)
• USBポート 1.1規格以上
• CD-ROM
• サウンドカード、スピーカまたはヘッドホン

Jetshell のセットアップ

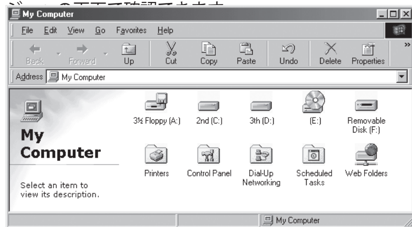
1. iAUDIO のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れると、インストールプログラムが自動的に実行されます。ご使用のコンピュータの環境によっては､自動的に実行されないことがあります。この場合は「CD-ROM:\setup.exe」または「CD ROM:\JetShell\setup.exe」を実行してください。

2. インストールが完了すると、コンピュータに、「スタート → プログラム → COWON → iAUDIO U3 → JetShell」の階層でセットアップされます。

iAUDIO の接続

Windows Me/2000/XP の場合（Windows 98 SE の場合は P16 を参照ください）
1. iAUDIO をコンピュータに接続します。(このとき JetShell は、まだ実行しないでください)
USBケーブルを使用し、iAUDIOのUSBポートとコンピュータのUSBポートを接続します。
(USBハブを経由させずに、コンピュータ本体のUSBポートに直接接続することを基準とします。)

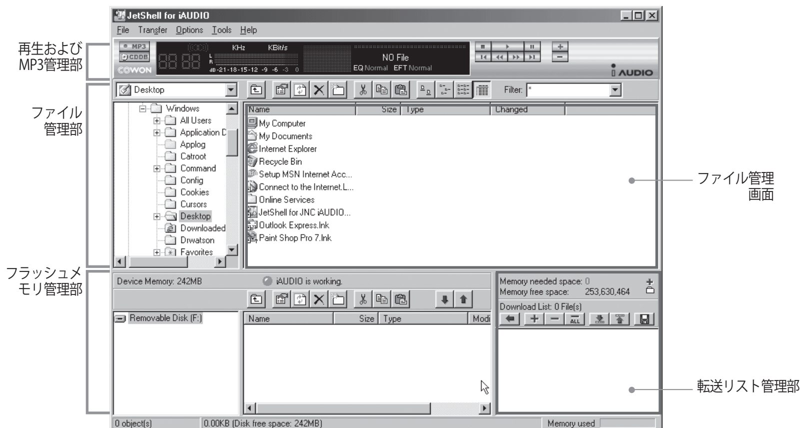
2.iAUDIO U3 を接続すると、正常なWindows環境ならば「新しいデバイスを検出しました」というメッセージとともに、iAUDIO U3 USBドライバが自動的にインストールされます。ご使用のコンピュータの環境によっては、ドライバのインストール画面が表示されないこともあります。
実際にインストールが完了しているかは、次の画面で確認できます。(XP Home Edition基準)
「マイコンピュータ」の画面に、新しく「iAUDIO」もしくは「リムーバブルディスク」が追加（認識）されている、または「コントロールパネル → システム → ハードウェア → デバイスマネージャ」の画面で確認できます。



3. 以上の手順が完了すると、JetShellやWindowsエクスプローラを使用してファイルを転送することができます。

JetShellの構成

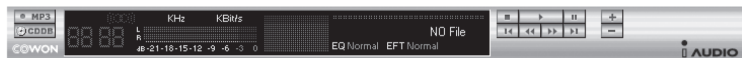
全体の構成



JetShellの起動中、JetShellがiAUDIOドライブをコントロールするため、次の場合には必ずJetShellを終了してからご使用ください。。

- USBドライブのインストール時（iAUDIOをコンピュータに接続するとき）
- Windowsエクスプローラで、iAUDIOをフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレード時

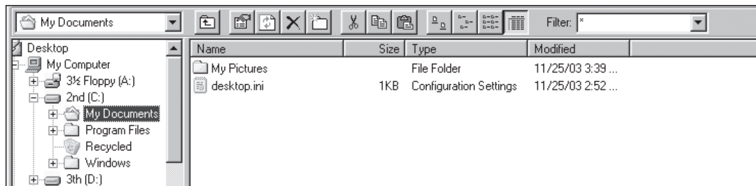
MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生



ファイル管理画面でMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)をダブルクリックするか、上図のようなコントロールパネルにファイルをドラッグアンドドロップすると、すぐに該当ファイルを再生します。また、複数のファイルを指定してから、Playボタンを押しても再生します。中央の黒い画面に、指定されたファイルの進行状態およびファイル名が左へスクロールしながら表示されます。

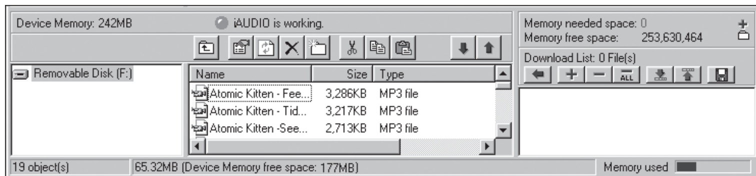
右側にある各ボタンによってファイルの再生/停止/一時停止/早送り/巻き戻しなどをすることができ、「+」「-」ボタンによってボリュームを調節できます。ポジションバーをクリックすることで、再生中の曲の好きな位置に移動（スキップ）することもできます。

ファイル管理部



JetShell上段のファイル管理部は、Windowsエクスプローラとほぼ同じです。左画面はツリー構造で、コンピュータのフォルダやディスク、CD-ROMなどを表示します。右画面には、左画面で選択したフォルダの中にある下位フォルダ/ファイルリストを表示します。

フラッシュメモリ管理部

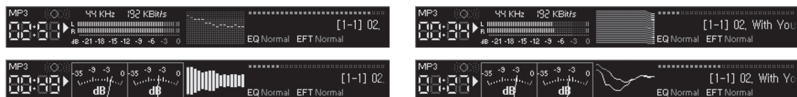


JetShellの下段部は、iAUDIOのフラッシュメモリ管理部+転送リスト管理部から構成されています。
iAUDIOが正常に認識されている場合は、図のように赤色のランプと「iAUDIO動作中」というメッセージが表示されます。ユーザーがコンピュータからiAUDIOに転送したファイルは、中央の画面に表示されます。画面右下に表示されている使用メモリは、iAUDIOのフラッシュメモリで使用されている容量を表します。上の図のようにパラメータの空きがほとんどなければ、iAUDIOの中には使用できる空き容量があまりないということです。

ボタン	機能	説明
	上へ	上位のフォルダに移動します。
	プロパティ	該当ファイルのプロパティを表示します。
	最新の情報に更新	フラッシュメモリの内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダの作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルまたはフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取ったファイルまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	フラッシュメモリに転送	指定したファイルまたはフォルダをコンピュータからiAUDIOに転送します。
	コンピュータに転送	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからコンピュータに転送します。

スペクトラム画面およびサウンドエフェクト

JetShellは視覚的に素晴らしいスペクトラムを表示します。スペクトラムが表示される部分をマウスでクリックするたびに、次のように画面が変わります。



また、次のような多彩なイコライザとエフェクトを楽しむことができます。

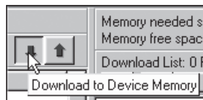


6種類のEQ

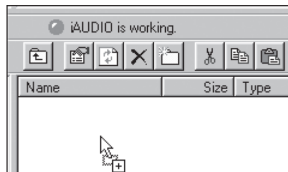
多彩なEffect設定

コンピュータからiAUDIOにファイルを転送

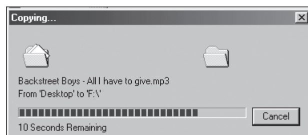
1.コンピュータからiAUDIOにファイルを転送するのは簡単です。上段のファイル管理部から転送したいファイルを指定し、下向きの矢印ボタンを押すと転送されます。



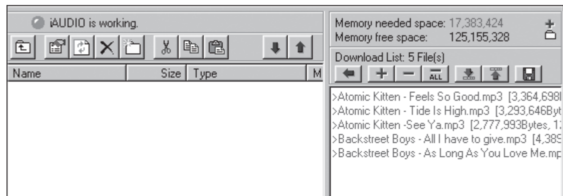
2.または、Windowsエクスプローラと同様に、ファイルを上段のファイル管理部から下段のフラッシュメモリ管理部にドラッグアンドドロップすると転送されます。



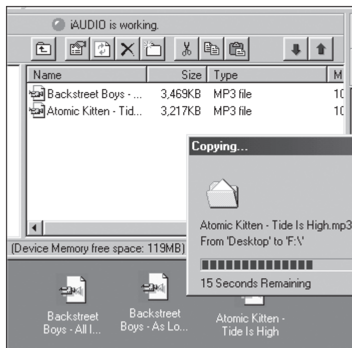
3.転送中の画面です。転送中には絶対にUSBケーブルを抜かないでください。



4. または、下図のように転送リスト管理部にあらかじめ登録してから転送する方法もあります。
それぞれ違うフォルダにある複数のファイルを「+」ボタンで登録した後、一度に転送する場合に便利です。



5.JetShellの外部にあるファイルを、フラッシュメモリ管理部にドラッグアンドドロップしても転送されます。



JetShellはWMA DRM（著作権保護付きファイル）の再生に対応しておりません。

iAUDIO内のファイルを削除する

iAUDIO内のファイルの削除は、Windowsエクスプローラでファイルを削除する方法と同じです。
削除したいファイルを指定した後、ボタンを押すと「フラッシュメモリから削除」の確認メッセージが表示されます。



削除する場合は、「OK」をクリックします。

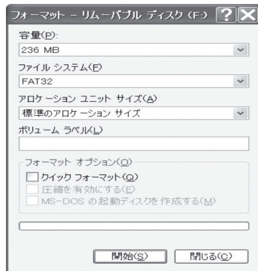
フラッシュメモリの初期化 (フォーマット)

ハードディスクをフォーマットするのと同様に、iAUDIO もフォーマットすることができます。
ただし、フォーマットをした場合、メモリの中にあるすべてのデータがなくなりますので、ご注意ください。

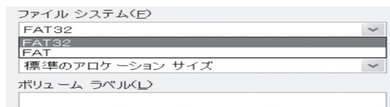
1．JetShell の「ファイル (F)」メニューをクリックして開き、「デバイスメモリの初期化 (M)」をクリックします。



2. フォーマットウィンドが表示されます。
   ここで「FAT」または「FAT32」を選択し、フォーマットします。



「NTFS」を選択してフォーマットした場合、iAUDIO は単純な USB 保存メディアとしてのみ認識され、デジタルプレイヤーとしては正常に動作しません。
ご注意ください。

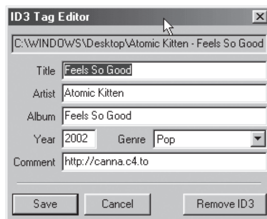


フォーマット後、JetShell でデバイスを認識できない場合は、USB ケーブルを一度抜いて iAUDIO の電源を入れて起動させた後、もう一度接続してください。

1. ID3タグ編集機能

JetShellのツールメニューにある「MP3 ID3Tag編集(I)」機能を使用すると、希望するMP3ファイルのID3タグ情報を修正することができます。

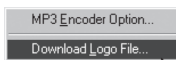


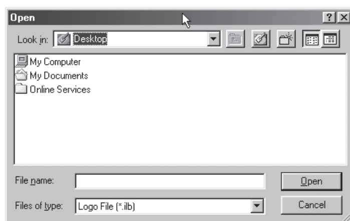


2. ロゴファイル転送機能

ロゴファイルを変更することにより、iAUDIOの起動時に表示されるロゴ画面を変更することができます。

JetShellのオプションメニューにある「ロゴファイルのダウンロード(L)」をクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されます。新しく使用したいロゴを指定した後、「開く」ボタンをクリックすると、ロゴが自動的に転送され変更されます。





症状	対応	説明
電源が入りません。	ACアダプタを接続しても同じ症状が発生するか確認してください。	内蔵のバッテリーが完全に放電している場合、ACアダプタで十分充電してから使用してください。放電状態によってはアダプタを接続してもすぐには充電されず、10秒くらい経ってから充電が始まることがあります。
	製品の底面カバー内にある「RE-SET」ボタンを押してください。	機械的に機器の動作を停止し、リセットします。
まったく音がしません。(ノイズがあります。)	機器のメモリにAVファイルが保存されているか確認してください。	機器にファイルが保存されていない場合、動作しません。
	ボリュームが「0」になっていないか確認してください。イヤホンが正常に接続されているか、また端子に異物が付着していないか確認してください(異物が付着していると、雑音が発生するおそれがあります)。音楽ファイルのデータが損なわれていると、雑音がしたり、音が途切れたりすることがあります。	
FMラジオが聴けません。	ビルの内部または地下鉄、移動中の車の中など場所によっては電波の受信感度が低下し、放送の受信状態が悪くなることがあります。また、電波の影となる場所ではラジオを聴くことができない可能性があります。	
	あらゆる場所でもFMラジオが聴けない場合は、受信モジュールに問題がある可能性があります。この場合はサポートセンターに修理を依頼してください。	
画面に表示される文字が化けます。	「追加説明」の「工場出荷状態に初期化」を参照して製品を初期化した後、言語を再設定しDisplayのTitleを「File Name」に設定して使用してください。ただし、ほかのiAUDIO機器でも同じ症状が発生する場合は、iAUDIO製品が韓国語のWindowsを基準として開発されたものであるため、一部の特殊フォントや言語が文字化けすることがあります。	

症状	対応	説明
コンピュータが製品を認識しません。	コンピュータに接続している状態で、製品の電源を入れてください。iAUDIOはWindows 98 SEでは別途のドライバのインストールが必要です。「Windows 98 SEドライバのインストール」を参照ください。	
JetShellに製品が認識されず、「iAUDIOがありません。」と表示されます。	コンピュータに接続している状態で、Windowsエクスプローラで製品が正常に認識されているか確認し、JetShellを実行します。Windows 98 SEでは別途のドライバのインストールが必要です。「Windows 98 SEドライバのインストール」を参照ください。	
フラッシュメモリの容量が実際より少なく表示／使用されます。(例:256MBなのに242MBと表示)	iAUDIOのフラッシュメモリは、システムファイルとして使用されるスペースを共有しています。従って、iAUDIOを動作させるためのシステムファイルのスペースを除くので、実際表示されるフラッシュメモリ容量は少なくなります。	
メモリがいっぱいの状態ですが、機器が誤動作する再生ができません。	空きスペースを確保してください。	製品の中には設定ファイルが保存されています。このファイルが正しく保存されていないか、ファイルの転送中に削除/損傷された場合、誤動作が発生するおそれがあります。